

福祉サービス第三者評価事業調査項目・【共通評価基準】＜自己評価結果＞ 育精福祉センター 児童寮 【令和6年度】

第三者評価共通評価基準 評価基本項目					共通評価基準 1/2						男性12名 女性11名	計23名
評価対象	評価分類		NO	評価項目	全体評価結果 ※小数点以下切り捨て						評価・課題・特記事項	
I 福祉サービスの基本方針と組織	I-1 理念・基本方針	(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	A	37%	B	59%	C	4%	・理念や基本方針は明文化され、目の届く場所に掲示する等の工夫により、概ね周知されているが、継続的な取り組みを行い説明していく。	
	I-2 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等に対応している	2	①事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	A	18%	B	51%	C	31%	・機関誌やHP等にも分析結果は掲載されているが、細部までは把握されていない。また、その結果を知らない人も多い為、周知していく。	
			3	②経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	A	28%	B	51%	C	21%	・法人会議の場で経営状況の把握、分析がされているが、知らない職員は多くいるため、周知していく。また、職員配置や各寮の現状理解等、現場の意見が反映されているとは思えず、課題は多く感じる。	
	I-3 事業計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている	4	①中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている	A	45%	B	39%	C	16%	計画は策定され資料も配布されているが、一部の職員のみ理解しており、知らない職員も多く全体会議の場などに参加できる人が限られていることもあり、全容や詳細を把握・理解できていないと感じる人が、周知していく。	
			5	②中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	A	53%	B	39%	C	8%	・理事会等で説明され、資料等も配布されているが、詳細まで把握できていない人が多いため、周知していく。	
		(2) 計画が適切に策定されている	6	①事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	A	36%	B	43%	C	21%	・評価や見直しが行われ、会議の場や資料回覧などで周知もされているが、知らない職員も多くい為、説明していく。	
			7	②事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	A	22%	B	62%	C	16%	・利用児が理解しやすいよう工夫しながら周知・説明を行うが、多くの利用児が理解に関して難しさを感じている。	
	1-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取り組み	(1) 質の向上にむけた取組が組織的・計画的に行われている	8	①福祉サービスの質の向上にむけた取組が組織的に行われ、機能している。	A		B		C		会議にて日々の支援の振り返りを行い、話し合いを行いサービスの質の向上に努めている。	
			9	②評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	A		B		C		各パートで話し合うことや会議等で課題について明確にして、改善に取り組んでいる。	
	II-1 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者の責任が明確にされている	10	①管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	A		B		C		会議や研修において、法令、倫理について話し合い、資料を配布し説明をしている。	
			11	②遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A		B		C		職員に資料を配布したり、説明している。また、研修に参加することで法令を学ぶ機会を提供している。	
		(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている	12	①福祉サービスの質の向上に意欲を持ち、その取組に指導力を発揮している	A		B		C		職員一人ひとりの福祉サービス質の向上の為、方向性や課題について説明している。	
			13	②経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	A		B		C		課題をしっかりと分析しており、会議等で効率的な改善策や具体的な取り組みについて説明を行う事で、指導力を発揮している。	

Ⅱ 組織の 運営管理	Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成	(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	①必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取り組みが実施されている。	A	13%	B	74%	C	13%	・専門職の採用等、人材確保に向けた取り組みはしているが、離職率が高く、確保に追いついていない。
			15	②総合的な人事管理が行われている。	A	26%	B	48%	C	26%	・ヒヤリングで希望を聞くなどし、総合的な人事管理が実施されているが、理解していない職員もいる。職員の定着に向けた取り組みを見直していく。
		(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	①職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	A		B		C		時短勤務や育児休暇の延長を実施等、働きやすい職場作りに取り組んでいる。
		(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている	17	①職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	A	22%	B	49%	C	29%	研修に参加をすることや課長、リーダーを中心に個別に教育、指導は行っている。個人目標に沿った取り組みも行っていく。
			18	②職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	A	44%	B	47%	C	9%	新人教育や研修が適宜実施されているが、人員不足ゆえ、研修への参加は難しくなっている。今後も基本方針に基づき実施していく。
			19	③職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	A		B		C		スキルアップの為に必要に応じて外部研修への参加を行っている。定期的に施設内研修にも取り組んでいる。
	Ⅱ-3 運営の透明性の確保	(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	①実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	A		B		C		受け入れの体制は整っている。令和7年度から介護福祉士の実習生も受け入れることになる。
		(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	①運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	A		B		C		HPや機関紙等情報を開示している。
			22	②公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	A	22%	B	57%	C	21%	・監査等、外部からの確認をしてもらっているが、知らない職員もいるため、説明していく。

第三者評価共通評価基準 評価基本項目											
評価対象	評価分類		NO	評価項目	全体評価結果						評価・課題・特記事項
Ⅱ 組織の運営管理	Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	①利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	A	31%	B	69%	C	0%	・地域交流や活動参加への取り組みは行われているが、感染症対策などの兼ね合いもあり、思うように行えていない状況が続いている。
			24	②ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	36%	B	56%	C	8%	ボランティア委員を中心に受け入れ体制を整えている。コロナ禍以降、受け入れ数も増えてきている。今年度も新しく合唱団の受け入れを行った。
		(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	①福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	A		B		C		児童相談所等、関係機関と連携を図り対応するケースは多い。県のセーフティネットである為、緊急性のある利用者を受け入れる機会は非常に多くある。
		(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	26	①福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	A		B		C		地域で暮らす方を対象に、今年は子供の発達についての研修を行った。
			27	②地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	A		B		C		権利擁護、虐待防止研修を実施している。また虐待防止委員会を設置し取り組んでいる。
Ⅲ 適切な福祉サービスの提供	Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	①利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A		B		C		プライバシーに配慮し個別に話を聞く場を設けている。会議等を利用して個人情報に関して、職員に周知している。
			29	②利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	A	54%	B	38%	C	8%	・個人情報の取り扱いについて、マニュアルがあり、説明している。環境面で不便を与えてしまっていることがある為、改善していく。
		(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	①利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	A	54%	B	30%	C	16%	施設見学やパンフレット、動画資料を公開し、情報収集できるように工夫している。
			31	②福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	A	67%	B	26%	C	7%	利用児に理解しやすい言葉や表現、例を用いて、丁寧に説明している。
			32	③福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A		B		C		サービス終了後も利用者や家族が相談できる関係作りに努めています。
		(3) 利用者満足の向上に努めている	33	①利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	A		B		C		利用者一人ひとりに満足度調査を実施し、結果に基づき支援に反映している。利用者会で意見を聞き取り、取り組みを行っている。
		(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている	34	①苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	A		B		C		苦情解決の体制は整備されている。苦情に対しては、会議等で話し合い適切な対処に努めている。内容については、会議で報告して回覧している。
			35	②利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	A		B		C		利用児が話ができる環境に配慮して個別に時間を設けている。思春期等で難しい時期に差し掛かる方も多く細かい配慮が必要になっている。
			36	③利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	A		B		C		定期的に利用児会を開催してその中で意見や要望を聞き、対応している。可能な限り迅速な対応を心掛けている。
			37	①安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	A	45%	B	47%	C	8%	会議で事例を紹介し、考える機会がある。マニュアル等はある、体制は出来ているが、同様なインシデントがあり、課題がある。

実施		(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	38	②感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	A		B		C		感染症の研修を行っている。マニュアルがあり、適切な指導のもと対応が行われている。
			39	③災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にしている。	A	71%	B	29%	C	0%	防災訓練、避難訓練を定期的実施している。食料や備品は事前準備して周知をしている。
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	①提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	A	45%	B	47%	C	8%	重要事項説明書等、提供するサービスの内容について文章化されているが、理解度については課題がある。
			41	②標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A		B		C		アセスメント、モニタリングを定期的に行い、状況に応じて検討、見直しを行っていく。
		(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	①アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	A		B		C		アセスメントの手法が確立されている。個々のニーズに応じた個別支援計画を作成している。
			43	②定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	A		B		C		定期的に評価、見直しが行われている。
		(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	①利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	A	54%	B	42%	C	4%	支援計画に基づいて、状況が分かりやすいように記録されている。また、引き継ぎや申し送りは欠かさず行い、必要に応じて回覧を行っている。書式についても統一が課題である。
			45	②利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A		B		C		記録等の管理体制は、一人ひとり厳重に行われている。第三者に情報漏洩がないように管理が徹底されている。

